

TDCSOFT Report

第69期 決算報告

2021年4月1日 ▶ 2022年3月31日

株主の皆様へ



代表取締役社長
小林 裕嘉

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに、「TDCSOFT Report 第69期決算報告」をお届けいたします。

当社は2019年4月から2022年3月における中期経営計画「Shift to the Smart SI」に基づき「次世代型システムインテグレーター」を目指し、市場の潜在ニーズを捉え、デジタル技術の新たな潮流に対応した次世代型のシステムインテグレーション（以下SI）事業へと進化することをビジョンに掲げております。

中期経営計画のビジョンを実現するために、当社グループは二つの基本戦略を定めております。

一つ目の「高付加価値SIサービスの追求」では、顧客のDX推進に対して、最新の要素技術を活用して顧客の価値創造ニーズに応えるサービス事業を推進しております。二つ目の「SIモデル変革の推進」では、高付加価値SIサービスを実現するための基盤づくりや、高生産性と高品質を両立したSIプロセスの整備などをイノベーション的アプローチで実現し、他社との差別化を図る施策を推進しております。

2022年3月期の業績は、おかげ様で中期経営計画の当初の業績目標である売上高30,000百万円、営業利益2,700百万円を達成し、売上高は30,925百万円（前年同期比13.3%増）、営業利益は2,967百万円（前年同期比25.8%増）、経常利益は3,082百万円（前年同期比20.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は2,069百万円（前年同期比20.9%増）となりました。

当社は2022年10月に創業60周年を迎えます。これもひとえに、皆様のあたたかいご支援の賜物と深く感謝申し上げます。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

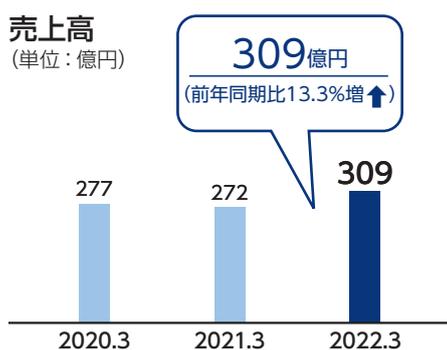


2022年6月

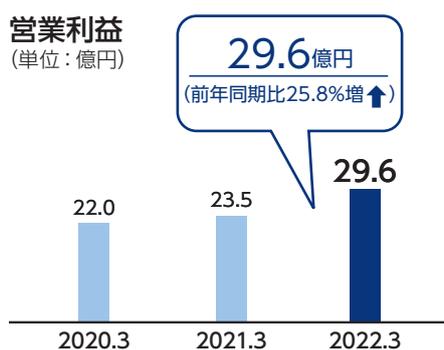
世の中をもっとSmartに

▶ 業績ハイライト - Financial Highlight -

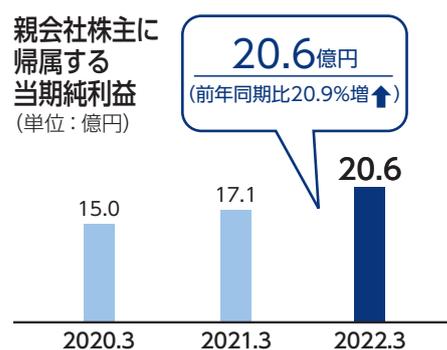
売上高
(単位：億円)



営業利益
(単位：億円)

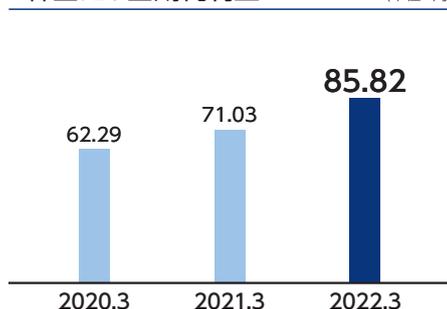


親会社株主に
帰属する
当期純利益
(単位：億円)



1株当たり当期純利益

(単位：円)



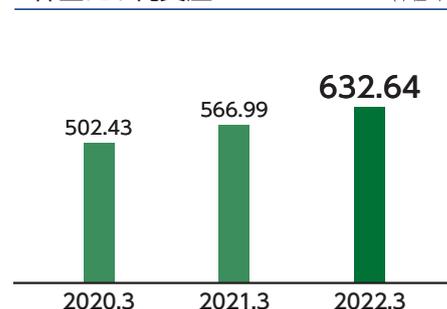
純資産・総資産

(単位：億円)



1株当たり純資産

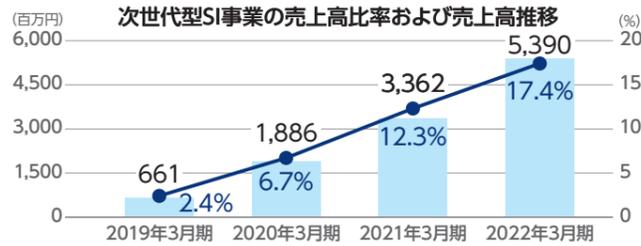
(単位：円)



トピックス①：主要施策の状況 - 高付加価値SIサービスの追求 -

次世代型SI事業は順調に拡大

アジャイル開発やクラウド分野が牽引し、
売上高構成比17.4%に拡大（計画比112%）



重点戦略分野

重点戦略分野：アジャイル開発事業

- 新たにリックソフト社と業務提携契約を締結
当社のSAFE®(*)サービスとリックソフト社の製品を組み合わせた新たなサービス提供を目指す
- 技術者の確保、拡大
アジャイル関連技術者は直近4年間で約5倍に拡大
売上高も約5倍となる15.2億円まで成長

重点戦略分野：セキュリティ事業

- インターネット総合研究所とアライアンスを締結
両社のシナジー効果によるサービスの付加価値向上や新サービスの提供を目指す
- 新サービスの追加
クラウドセキュリティ診断サービスのラインナップに新たにMicrosoft Azureを追加

(*) SAFE® (Scaled Agile Framework: スケールド・アジャイル・フレームワーク) とは企業、組織のビジネスアジリティを向上させるエンタープライズアジャイルのフレームワークです。従来の開発手法のようにITシステムの開発だけに焦点を当てたものではなく、ビジネス及び経営のレイヤーにも適用します。

トピックス②：主要施策の状況 - SIモデル変革の推進 -

主な取組

- ・ハイスキル人材のシェアリングによるサービス品質の向上
- ・プライスコントロールに向けた施策の推進
- ・プロジェクトパフォーマンス制度導入などのトラブルプロジェクト撲滅に向けた取組を推進



トピックス③：積極的な投資の推進

○技術投資の拡大

今後のテクノロジーがもたらす将来変化を予見し、要素技術に対する投資を拡大

○ブランディング・マーケティングへの投資

- ・自社製品の販売拡大に向けたマーケティング投資
- ・人材確保を目的としたテレビCM施策等のブランディング投資



トピックス④：新中期経営計画策定

- 新中期経営計画『Shift to the Smart SI Plus』(2022年度～2024年度) -

中期経営計画における経営方針

Shift to the **Smart SI Plus**

TDCソフトグループは、市場や社会の潜在ニーズを捉えた付加価値の高いITサービスを提供することで、『よりスマートな世の中(社会)の実現』に貢献します。

中期経営計画における経営目標

2025年3月期 業績目標

連結 売上高 **400** 億円

営業利益率 **10%**

Plus!

事業領域の拡大

既存のSI事業領域を軸に新たな領域へ事業を拡大
新たなビジネスモデルに必要なケイパビリティを獲得し、新たな次世代型SI企業を目指す

高付加価値SIサービスの追求
社会や顧客の潜在ニーズを捉え、最新の要素技術等を活用した付加価値の高いインテグレーションサービスの拡大

SIモデル変革の推進

高生産性と高品質を両立するSIプロセスの整備などをイノベーション的アプローチで実現

事業領域の拡大

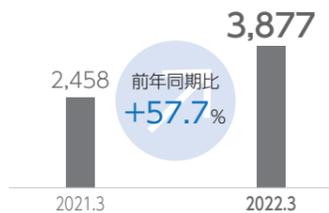
事業領域	主要戦略
SI事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 次世代型SI事業の拡大 ■ 維持・保守領域等のSI事業におけるマネージドサービスによるビジネスボリュームを拡大
コンサル事業	<ul style="list-style-type: none"> ナレッジの蓄積やメソッド化を図り次の事業拡大を目指す ■ 既存のDX/ITコンサルやSAFEコンサルの更なる拡大 ■ 技術教育サービスの拡充・拡大
サービス・製品販売事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 蓄積ナレッジを活用した新たな自社製品の販売事業の拡大 ■ マーケティング機能を強化し、ユーザーニーズやシーズを捉えた製品やサービスの販売

2021年4月～2022年3月 事業分野別概況

ITコンサルティング&サービス

当時はITサービス管理、クラウドマネージドサービス関連の案件が活況。DXの潮流を追い風に拡大。

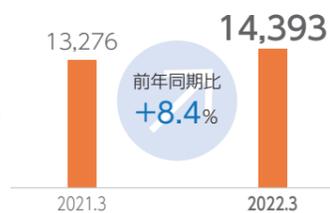
お客様のDX推進に向けたIT戦略・システム化構想の立案、技術コンサルティング、教育サービス、自社クラウドアプリ、BI/DWH、ERP、CRMなどのソリューションサービスを提供



金融ITソリューション

前期はコロナ影響により案件の中断・延伸などが発生したが、当期は改善され特にクレジット関連のシステム開発案件等が堅調に推移。

金融業向けにシステム化構想・設計・開発・保守などの統合的なITソリューションを提供



公共法人ITソリューション

運輸業、通信業向けの開発案件等が堅調に推移

流通業、製造業、サービス業、公共向けにシステム化構想・設計・開発・保守などの統合的なITソリューションを提供



プラットフォームソリューション

クラウド関連のインフラ構築案件が堅調に推移

ITインフラの環境設計、構築、運用支援、ネットワーク製品開発、ネットワークインテグレーション等を提供



2023年3月期 見通しについて

(単位:百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	EPS (円)	配当予想 (円)
第2四半期 (累計)	15,600 (+6.4%)	1,340 (△15.6%)	1,365 (△17.1%)	915 (△18.1%)	37.95	中間期 15.00
通期	33,000 (+6.7%)	3,065 (+3.3%)	3,135 (+1.7%)	2,100 (+1.5%)	87.10	期末 30.00 合計 45.00

- 中期計画に基づく投資施策を積極的に推進。収益拡大効果から投資コストを通期で吸収し、増収増益を予想
- 配当予想は、これまでご支援いただいた株主の皆様にご感謝の意を表すため、一株当たり15円の記念配当を中間配当において実施させていただく予定

会社概要 (2022年7月現在)

会社名	TDCソフト株式会社 TDC SOFT Inc.
創業	1962年(昭和37年)10月16日
上場市場	東京証券取引所 プライム市場(証券コード4687)
資本金	9億7,040万円
事業内容	・ITコンサルティング&サービス ・金融ITソリューション ・公共法人ITソリューション ・プラットフォームソリューション
事業所	本社 東京都渋谷区代々木三丁目22番7号 新宿文化クイントビル 関西支社 大阪府大阪市中央区北浜三丁目1番18号 島ビル
グループ従業員数	1,999名

役員	代表取締役会長 橋本 文雄 代表取締役社長 小林 裕嘉 取締役専務執行役員 小田島吉伸 取締役常務執行役員 高瀬美佳子 取締役執行役員 河合 靖雄 取締役執行役員 北川 和義 取締役執行役員 大垣 剛 取締役(社外) 桑原 茂 取締役(社外) 中川 順三 取締役(社外) 川崎久実子 取締役(社外) 倉本 昌和	常勤監査役 伊藤 浩一 常勤監査役 野崎 聡 監査役 岡松 宏明 上席執行役員 真下 研一 上席執行役員 熊田 稔 執行役員 瓜生 力 執行役員 桜井 博 執行役員 上條 英樹 執行役員 足立 薫彦 執行役員 村上 裕二 執行役員 村上 知也 執行役員 河口 聡
----	---	--

関係会社 TDCフューテック株式会社
東京都中央区東日本橋三丁目6番11号 日本橋橋ビル
エールビジネスコンサルティング株式会社
東京都千代田区神田須田町2丁目17番 神田INビル



決算説明会資料と動画

決算の概況などについて、社長の小林と、取締役の大垣が説明しております。ぜひご覧ください。

《TDCソフト 決算説明会》で検索

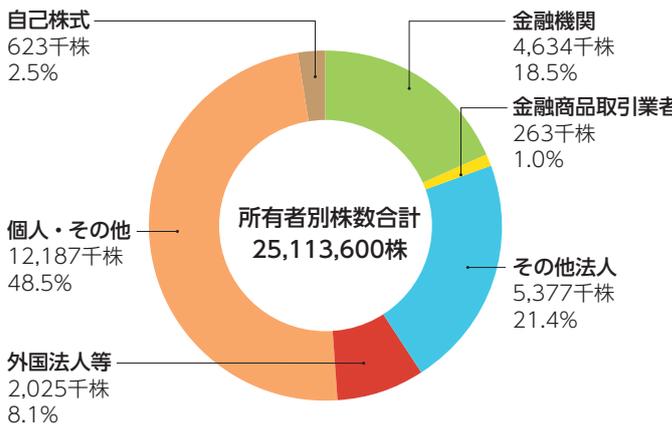
株式情報 (2022年3月31日現在)

発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式の総数	25,113,600株
株主数	3,469名

大株主	持株数(株)	持株比率
有限会社野崎事務所	3,064,000	12.5%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,177,800	8.9%
TDC社員持株会	2,118,900	8.7%
野崎 聡	1,005,200	4.1%
株式会社IDホールディングス	600,000	2.5%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	599,300	2.4%
野崎 哲	569,200	2.3%
藤井 吉文	544,700	2.2%
株式会社みずほ銀行(常任代理人株式会社日本カストディ銀行)	528,000	2.2%
アジア航測株式会社	400,000	1.6%

(注)当社は、自己株式623,959株を保有しております。
また、持株比率は自己株式数を控除して計算しております。

所有者別分布状況



株主メモ (株式に関するお手続きについて)

事業年度	4月1日~翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.tdc.co.jp/ やむを得ない事由により、 電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

●証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

●特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取(買増)請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定(*)	特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人 【手続き書類のご請求方法】 ○インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufig.jp/daikou/

(*) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びできません。

TDCソフト株式会社

〒151-0053 東京都渋谷区代々木三丁目22番7号 新宿文化クイントビル
03-6730-8111(代表) <https://www.tdc.co.jp/>